



2025 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 KOKUSAI ELECTRIC
 代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 塚田 和徳
 (コード番号：6525 東証プライム市場)
 問 合 せ 先 経営戦略本部 本部長 能勢 雄章
 (TEL. 03-5297-8515)

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想値と実数値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 5 月 13 日に公表しました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想値と本日公表の実数値との差異について、お知らせいたします。

また、2025 年 5 月 13 日に公表しました 2026 年 3 月期通期業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想値と実数値との差異（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 中間利益	基本的 1 株 当たり中間利益
前回発表予想(A)	百万円 104,000	百万円 17,000	百万円 16,500	百万円 11,900	円 銭 51.00
実績値(B)	117,205	22,710	22,162	15,558	66.72
増減額(B-A)	13,205	5,710	5,662	3,658	
増減率(%)	12.7	33.6	34.3	30.7	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	114,548	27,440	27,942	18,053	77.06
	調整後 営業利益	調整後 中間利益	1 株当たり 調整後中間利益		
前回発表予想(A)	百万円 20,000	百万円 14,000	円 銭 60.00		
実績値(B)	25,341	17,383	74.55		
増減額(B-A)	5,341	3,383			
増減率(%)	26.7	24.2			
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	30,681	21,607	92.23		

<業績予想値と実数値との差異の理由>

第 2 四半期（中間期）において、需要の変化を受け、下期の販売を見込んでおりました中国地場メーカーに対する NAND 向け装置及び Logic/Foundry 向け装置の一部を上期へ前倒して販売いたしました。また、一部の部品も上期に前倒して販売したため、第 2 四半期（中間期）の売上収益及び各利益が 2025 年 5 月 13 日に公表しました予想を上回りました。

2. 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1 株 当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 244,000	百万円 49,200	百万円 48,400	百万円 36,000	円 銭 154.28
今回修正予想(B)	230,000	38,800	37,600	27,900	119.52
増減額(B-A)	△14,000	△10,400	△10,800	△8,100	
増減率(%)	△5.7	△21.1	△22.3	△22.5	
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	238,933	51,320	50,789	36,004	154.60
	調整後 営業利益	調整後 当期利益	1 株当たり 調整後当期利益		
前回発表予想(A)	百万円 55,200	百万円 40,100	円 銭 171.85		
今回修正予想(B)	44,400	31,800	136.22		
増減額(B-A)	△10,800	△8,300			
増減率(%)	△19.6	△20.7			
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	57,753	42,303	181.65		

<通期業績予想の修正の理由>

当期は半導体デバイスメーカーによるデバイスの世代交代や生産規模拡大に向けた設備投資が進んでおりますが、下期に想定していた一部の装置の販売時期が 2027 年 3 月期にずれ込み、売上収益及び利益が 2025 年 5 月 13 日に公表しました予想を下回る見通しとなりましたので、通期業績予想を修正いたします。

販売時期がずれ込むのは、主に世界各国メーカー（中国以外に本拠のあるメーカー）に対する NAND 向け装置の一部、中国地場メーカーに対する DRAM 向け装置の一部であり、いずれも 2027 年 3 月期には販売できる見込みです。

また、売上収益の減少率に比べて利益の減少率が高い理由は、高付加価値製品の販売が 2027 年 3 月期にずれ込むことや、それに伴う当期生産台数の減少によって売上総利益率が低下することに加え、売上収益の減少に伴って先行投資を含む販売費及び一般管理費の比率が相対的に高くなるためです。収益性については、今後の売上拡大により改善していく見通しです。

なお、上記のとおり、今回の通期業績予想の修正は販売時期のずれ込みによる一過性の売上減少が主要因であるため、当期配当予想につきましては変更いたしません。

以 上